

中萩校区まちづくり懇談会 開催結果報告書

開催日時 平成26年7月3日(木) 19:00～20:40
場 所 中萩公民館
参加者数 男90人 女15人 合計105人



1. 連合自治会共通の市政課題

なし

2. 校区の課題

課題名 (県道金子中萩停車場線の拡幅について)

【課題提案】

愛媛県東予地方局から県道金子中萩停車場線の道路整備については、公団混雑が解消された後に、緊急に整備が必要な箇所から順次進めていきたいとの回答を受け、新居浜市は平成24年度から地籍調査を順次実施していただいているが、その進捗状況とその調査後に実施される具体的な整備計画の見通しについてお伺いしたい。

【回答】(建設部長)

河之北地区の地籍調査については、平成24年度に南側より事業を着手し、現在境界立会及び測量を行っている。平成24年度に境界立会を行った区域については、平成26年度末までに成果を法務局へ送付する予定だが、境界について未確定の土地もあることから進捗が遅れている状況である。平成25年度の区域については、平成26年度調査結果の閲覧を行い、平成27年度末までに成果を法務局へ送付する予定である。

また、愛媛県からは境界が確定していない区域もあることから、平成26年度は整備区間を選定の上、測量・設計を実施し、平成27年度に用地買収したいという考えを伺っている。

課題名（ 広瀬グラウンドにおける防災設備の整備、災害時の避難場所の確保について ）

【課題提案】

中萩校区については、人口が多く範囲が広い割に公共施設が少なく災害時の避難場所が少ないと思われるが、広瀬グラウンドはスペースがあり災害時にテントを設置できるスペースがあるなど防災的な役割が期待できる。そのため、非常用食糧や飲料水を備蓄できる設備を要望したい。

中萩校区は坂も多く高齢者の移動に限界があるため、住まいの近くの自治会館を非難場所として利用できないか検討してほしい。さらに銀行や農協などいざという時に住民が避難場所として利用できるように住民と企業の間には災害時に施設を利用できるよう協定を結んでいるところもあるようなので、住民が安心して暮らせるよう避難場所の確保について何か良い案がないかお伺いしたい。

また、グラウンドの西側フェンスが低いため、ボールがフェンスを越えて隣の民家の屋根に当り、穴をあけたりして迷惑をかけているので、フェンスを高くするなどの対応をお願いしたい。

【回答】（市民部総括次長）

広瀬グラウンドは土砂警戒区域内に位置しており災害時の避難場所には適していない。災害時の避難場所については、必ずしも市の指定避難場所を利用する必要はない。地域で鍵の開閉の管理が可能で、安全性が確保されていれば、自治会館を利用していただきたい。ただ、自治会館に避難された場合は、市で避難者数を把握して物資を調達する必要があるため、中萩公民館に避難人数の報告をお願いしたい。なお、昨年度、自治会長に自主的な避難場所の依頼をした際に、市内で5カ所、中萩校区では6カ所の自主的な避難場所の届出をいただいた。その6カ所の中には福祉事業所を自主的な避難場所に決められている自治会もあるが、普段からの事業所との交流の延長で協力体制が築かれているものと考えている。まずは、どこに避難するのが適当であるかを地域で話し合う機会を持っていただくことが第一歩であると考えている。

【回答】（教育委員会事務局長）

高齢者生きがい創造学園グラウンドの利用で周辺住民の皆様にご迷惑をおかけして申し訳ありません。今のところ、フェンス改修の予定はないが、利用申請を行った方にはグラウンド西側でボールの利用をしないなど利用方法の周知を図っている。また、申請を行っていない地元の子供などがボール等で遊んでいた場合は、地域の方が積極的に注意をしていただきたいと思う。また、立看板等も設置したので、今後ご迷惑をかけないように努めていく。

【要望】

備蓄品については、公民館で一律の数を備蓄していると昨年に回答を得ており、毛布、簡易トイレ、発電機等の中萩校区では絶対数が不足している。中萩校区は、新居浜市の人口の約6分の1の2万人が暮らしており、各公民館一律の備蓄では絶対に対応が不可能である。公民館への備蓄品については、人口に比例した形での配備をお願いしたい。

また、広瀬グラウンドは避難場所として適していないという回答があったが、それは水害の場合だと認識しているので、地震の際などは隣接の角野校区の方たちの避難場所としても利用できると思うので検討をお願いしたい。

【質問】

中萩校区で6カ所の自主的な避難場所という説明があったが、6カ所について教えてほしい。また、これから避難場所としての申請を行ってもよいか。

【回答】（市民部総括次長）

中萩校区では、馬淵自治会館、横水自治会館、治良丸自治会館、岸の下自治会館、横山南団地集会所、街かどケアホームのりかの6カ所である。

避難場所としての申請については、地元で管理運営ができ、安心・安全な場所であれば申請していただきたい。また、自主的な避難場所については、防災安全課のホームページでも公開しているのでご覧いただきたい。

課題名（ 国道11号線バイパスについて ）

【課題提案】

平成24年2月に暫定2車線で供用開始されている国道11号線バイパスについて毎年議題を提案し、国、県、市、警察等関係機関のご尽力によりすでに解決している議題もあるが、この道路は中萩校区の住民にとって大切な基幹道路でもあるので、次の4点について要望も含め質問したい。

- (1) 11号線バイパスの本郷から黒道方面の整備にかかる進捗状況について、昨年も伺っているが、再度現在の進捗状況について、さらに黒道から西喜光地までの進捗状況も含め、どのような予定で整備が進められているか伺いたい。
- (2) フジ本郷店西側に設置されている信号箇所です右折専用レーンの構造上の問題に伴い発生している渋滞の解消対策として、昨年7月に隅切りを削る、西側路側帯の幅を狭くし道路中央の白線の位置をずらす、などの対応を行っているが現在も慢性的な渋滞が続いている。今後の抜本的な対策について伺いたい。
- (3) 11号線バイパスに接続する西町中村線について、フジ本郷店で工事が中断されている。地元住民として早急な解決を望んでいることから今後の整備状況について伺いたい。
- (4) バイパス供用開始に伴う信号機等の安全施設について、信号機6カ所の設置要望に対しこれまで4カ所の設置が完了し、残る2カ所については愛媛県公安委員会では交通状

況等を勘案しながら検討してもらえとの回答をいただいているが、現在の進捗状況を伺いたい。

【回答】（建設部長）

(1) 本郷一丁目から黒道までの約600mの区間の進捗状況については、平成26年3月末までに本郷一丁目（フジ本郷店）から市道滝の宮山根線（自転車道）までの間200mは9割強、自転車道から黒道までの400mは現在4割の用地買収を完了している。

次に黒道から西喜光地までの500mについては、平成26年度から用地調査に入ると聞いている。今後の予定については、さらに用地買収を進めていき、ある程度用地買収がまとまった時点で埋蔵文化財の確認を経た後に工事に着工する予定である。

(2) 当箇所については、昨年度よりいくつかの対策を行っているが、抜本的な渋滞緩和までには至っていない。今後の抜本的な対策については、国交省と愛媛県において交差点の改良等の検討調整を行い実施すると聞いている。

(3) 西町中村線については、現在JR南側の用地買収や四国電力の鉄塔の移設について関係者と協議中であり今後、用地買収、物件補償が完了次第、工事着手の予定である。

なお、工事完成は、用地買収の進捗や予算確保の状況など不確定な要因もあることから、早期に完成するように努めていく。

(4) 信号機の設置は、交通管理者（警察）であるため、引き続き道路管理者である国交省と連携して、警察に対し信号機の設置を強く要望していきたいと考えている。

【要望】

11号線バイパスについては、従来の道と違い幅員がかなり広いため高齢者はスピード感覚の違いから横断に危険が伴うものと思われる。安全面も考慮し、信号機の設置を早急に進めていただきたい。

課題名（ 上部東西線の整備について ）

【課題提案】

上部東西線については、大生院と中萩・角野校区を結ぶことになり大きな経済効果や11号線の渋滞緩和が見込まれ早期の開通を願うところである。治良丸（萩生出口本線）までは平成29年度中の供用を目指して事業を進めていると伺っているが、治良丸以西の整備について見通しを伺いたい。

【回答】（建設部長）

上部東西線は現在、中萩中学校の西側市道（横山高尾線）から中萩自動車教習所の西側市道（萩生出口本線）までの間の用地買収を行っており、平成26年度から用地買収が完了したところを順次、工事着手する予定である。現時点では平成29年度中に現事業を完成させることを目指しており、萩生出口本線以西の整備については、現事業の整備状況を踏まえながら引き続き事業着手できるよう準備を進めていく。

【要望】

且の上地区は南北の幹線道路（幅員4m以上）はあるものの、東西の道路は、大変幅員が狭いため、消防車や救急車の通行が困難な場所も多く、火災等が起こった際に危惧をしている。先日もトラクターが脱輪した際に運転手の中に閉じ込められ、レスキューを呼んだが非常に時間がかかった。上部東西線の進捗状況が遅いと感じているが、住民の財産と命を守ることが行政の最大の任務だと思うので、早急に上部東西線の開通をお願いしたい。

課題名（旧国道等の路側帯へのカラー舗装及び交通マナーの改善対策について）

【課題提案】

- (1) 中萩校区の旧国道等の路側帯へのカラー舗装については順次整備をいただいているが、岸の下の森賀建設から西側の部分と市道萩生出口本線の中萩公民館から中萩橋までの部分が未実施であり、児童の安全を確保するため、早急な対策をお願いしたい。また、西条市などは交差点全域に着色し安全の注意喚起を図る取組みを実施しているようであるが、本市においてもこのような新しい取組みへの検討、実施をお願いしたい。
- (2) 昨年よりの引き続きの要望であるが、カラー塗装がはげかけている部分が多くなっており、塗り直しなどのメンテナンスをお願いしたい。
- (3) 中萩小学校の通学路である旧国道の安全対策については、以前から交通事故の危険性が高く、萩っ子見守り隊や小学校PTAによる立ち番、交通指導員等による指導、路側帯のカラー舗装や車両の速度規制などの注意喚起により安全対策に警察・市などの関係機関や地域をあげて事故防止策に取り組んでいる。今年3月には長年の地域をあげた取組みが実を結び、道路管理者である市や関係機関の尽力もあり、新居浜警察署から同区間の交通安全に係る『ゾーン30』の指定を受け、平成26年度に整備される見通しとなっている。今後においても交通マナーの改善対策に取り組むが、市においても定期的に防災行政無線で生活道路内での車両の減速など交通安全についての喚起を促す放送を学期始めに行っていただくなどあらゆる啓発手段を講じて交通マナーの向上に努めていただきたい。

【回答】（建設部長）

- (1) 路側のカラー舗装は通学路の安全対策として行っており、岸の下の森賀建設から西側部分については、中萩小学校等の通学路に指定されていないこと、他校区でのカラー舗装の要望が多いことから今のところ塗装の予定はない。また、市道萩生出口本線の中萩公民館から中萩橋までの区間については、中萩小学校の通学路であることから、小学校とも協議を行い、警察の了承を得たうえで順次対応する。

また、以前より交通事故の恐れのある交差点については、ドライバーの注意喚起を促す目的で、交差点内の着色や交差点手前で減速を促す路面標示の施行等を実施しているので、今後も新居浜警察署交通課と協力し、効果的な対策を実施していく。

- (2) カラー舗装の色落ち箇所約830mについては、昨年度に一部塗り直しを行った。今年度も引き続き現地を調査の上、順次メンテナンスを行う。

(3) 『ゾーン30』については警察と現地協議を行った結果、道路管理者の管轄として、一部市道に外側線とカラー舗装の施工を予定している。

【回答】（市民部総括次長）

(3) 中萩校区における交通安全についての注意喚起放送については、平成25年度は2学期に3回、3学期に2回、平成26年度は1学期に1回、始業式に合わせて実施している。今後についても交通安全注意喚起に対する放送依頼があれば実施する。

【要望】

旧国道については、中萩校区のメインの通学路である。カラー舗装等を行っているものの歩道が狭く、特に雨天時などは大事故が起こらないのが不思議なくらい危険であると認識している。中萩校区では独自に公民館事業として愛護班、PTAなども連携して立看板を立て、ドライバーの注意喚起を行っている。今年8枚、昨年4枚の計12枚の立看板を設置して啓発しているが、事故の危険性は常に持っているので、引続きカラー舗装のメンテナンス等のご協力をお願いしたい。

【質問】

コープ中萩店横の道と旧国道が交わる三叉路については、見通しが悪いため年に1回程度事故が起こっている。カーブミラーはあるものの旧国道側の車が速度超過で危ない場面が多々あるため、先ほど説明いただいた交差点の着色などの対応をお願いできないかお伺いしたい。

【回答】（建設部長）

先ほど説明したように、『ゾーン30』の規制がかかるので、多少は安全性が向上すると思うが、現地を見させていただいた後に警察等と協議を行い対応したいと思う。

課題名（ 学校給食について ）

【課題提案】

平成26年3月27日に新居浜市学校給食検討委員会が新居浜市学校給食調理場に関する検討結果の中で、「小学校の改築に伴う新居浜市調理場についてはセンター方式が適当である。」との答申がなされたと伺った。当地域においては、新居浜一のマンモス校である中萩小学校があり、給食の提供方法の変更は児童への影響が大きいため、学校給食がどう変わろうとしているのか現在の状況もあわせてお伺いしたい。

【回答】（教育委員会事務局長）

現在の小学校の給食施設は昭和52年度から61年度までに改築したもので、老朽化が進んでいる。中萩小学校も昭和59年度に改築してから30年を経過する。その間、給食施設のドライシステム導入や汚染・非汚染区域の明確な区分けなど『学校給食衛生管理基準』等も改正されており、できる限り早期に新基準に沿った給食施設に整備する必要がある。

そこで、市では平成25年5月に学識経験者や小中学校長、栄養職員、調理員、学校医、

小中PTA、市民公募委員等さまざまな分野を代表する委員による『新居浜市学校給食検討委員会』を設置して、整備方法等の研究調査をしていただき検討結果の答申をいただいた。内容については、早期にかつ公平に「学校給食の安全・安心」を確保するという観点から、共同調理場（センター）方式による整備が適当であるという結論や食育の推進や特別給食への対応についての要望、できる限り自校方式の良い部分を取り入れて欲しい等の意見が付されている。

市としては、『学校給食検討委員会』の答申を受け、その内容の具現化を図るため、庁内プロジェクトチームを組織し、6月から検討を始めたところなので、現在のところ整備スケジュールを含む具体的な計画は決まっていないが、平成26年度内を目標に基本計画を決定し、できる限り早期に整備を進めたいと考えている。

【質問】

市長等にも要望を提出したが、自校方式を続けていただきたい。自校で作った給食を調理員と生徒が協力しながら食べるということは必要であると考えている。答申に従って、センター方式を推進するのではなく、広い意見を聞いて欲しい。

また、安心・安全、子どもを一番に考え、どの方式が一番ベターなのか検討を行って欲しい。

【回答】（教育委員会事務局長）

先ほども説明したように、答申を受け、どのような方式が良いかこの1年で検討する。結論が出たら、皆さんに報告したいと考えている。

【質問】

小学校は災害の避難拠点である。避難拠点は、食事面を考えなければならないと思う。中萩小学校の調理場にどのような問題があるかわからないが、調理場を改修しながら避難拠点としての役割も果たすような調理場にしていくことも重要ではないか。

【回答】（教育委員会事務局長）

答申の中においても、新しい給食施設の中に備蓄機能を果たすための倉庫等を作れないか、調理場の炊飯釜等を災害時に役立てられないだろうかという課題も多く含まれており、今年度中に精査したいと考えている。

【質問】

センター方式が決定されたかのような言い回しだが、それはおかしい。食べるだけが給食ではなく、給食を作ることを見ることも重要。調理現場が見えないセンター方式には反対。

また、農家は採算を度外視して学校に食材を運んでくれている。地産池消の観点からも自校方式が優れているように思うが見解はどうか。

【回答】（市長）

結論から申し上げますと、センター方式が決まったわけではない。検討委員会からセンタ

一方式が望ましいという報告を受けたことは事実である。それを基に庁内のプロジェクトチームを作り内容を精査し、自校方式も含めどの方式を決定するかの検討が今年度中になるかと思うが、まだ、方向性は決まったわけではない。

3. その他

【質問】

自治会の加入率が新居浜市全体で約6割と聞いている。近年、加入率がさらに低下しており、加入依頼を行っても自治会に加入してくれない世帯が増加している。今後さらなる低下が予想されるので、転入の際に自治会加入促進のパンフレットを配る等の行政の努力も必要なのではないか。

【回答】（市長）

新居浜市内でも加入率が低下しているのは、頭が痛い問題で何か名案はないものかと思案している。転入者については加入促進パンフレットを配布している。マンション、アパートの加入率が低いことから、不動産業者にお願いをして大家さんに自治会加入を前提とした入居をお願いしているが、加入率向上につながっていないのが現状である。ごみステーションを自治会の加入促進に使えないかと考えたりもしているが、市民の皆さんからも広く意見をいただきたいと考えている。

【質問】

防犯灯のLED化に際して、設置費用、電気代も無料という説明をいただいたが、要望すれば全て認めてもらえるのかお伺いしたい。

【回答】（市長）

基本的には、現在設置されている防犯灯についてLED化すれば設置費用、電気代は市で負担する。これは10年間継続する。また、これから設置する防犯灯については、設置費用、電気代ともに自治会にもそれ相応の費用負担をお願いすることになると考えている。これから設置基準を作成し、その基準に見合えば新設も認めていくことも考えている。

【質問】

中萩公民館については、かなり老朽化が進んでおり、南海地震の恐れもあるが耐震基準は満たしているのかお伺いしたい。

【回答】（教育委員会事務局長）

昭和56年以降の建築については、耐震基準をクリアしている。中萩公民館についてはそれ以降の建築なので、安心して使用していただきたいと思う。